

# 第1学年社会科学学習指導案

日時：平成23年9月27日（火）3校時

場所：1年3組 教室

指導者：岡田 昭彦

## 1. 単元名 世界の諸地域 アジア州

### 2. 単元の目標

- (1) アジア州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとする。
- (2) アジア州の地域的特色を各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。
- (3) アジア州の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする。
- (4) アジア州について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付ける。

### 3. 単元設定の理由

#### (1) 単元について

地理学習は、誰にもある知らない土地に出かけてみたいという旅行の願望という、人間の基本的な欲求に答えるべき学習であると考え。本単元は、新学習指導要領によって、新設された単元である。新学習指導要領によると、学習の対象となるのは、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの6つの州である。その中でアジア州の基礎的・基本的な知識を身につけ、地域の概要を把握する。6つの州で取り上げる視点は「各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設ける」ことであり、ヨーロッパでは「EUの発展と地域間格差」、アフリカでは「モノカルチャー経済下の人々の生活」、北アメリカ「大規模農業と工業の発展」、南アメリカ「森林破壊と環境保全」、オセアニア「アジア諸国との結びつき」である。そして、アジア州の地域的特色である「アジアの人口問題の出現や多様な民族構成・文化形成の背景」を理解する。この地域的特色が明確となるために「なぜアジアでは人口が急増し、民族・文化が多様なのか」という主題を設ける。そして、アジアにおける人口急増地域の分布、産業発展と人々の生活のかかわり、民族や宗教分布、宗教と生活とのかかわり、宗教の伝播や人口の地域的移動の推移などを追求する。最終的には日本の国土の認識を深めるため、アジア州の人々の生活がイメージできる具体的事例を取り上げ、生徒が身近に感じることができる。そして、多様な地域や人々から構成される世界を認識し、説明する能力を育成するのに適した教材である。

#### (2) 生徒について

… <個人情報保護のため省略> …

### (3) 指導にあたって

アジア州の地域的特色である「アジアの人口問題の出現や多様な民族構成・文化形成の背景」を理解するためには、基礎的・基本的な知識が不可欠である。知識がなければ考えが深まることはできないし、知識が増えれば思考が深まる可能性も大きくなる。地理は空想の世界を扱うのではなく、現実の世界を対象にするので、しっかりとしたデータに基づいた地域認識が必要となる。多くの知識やデータがあればより正確な議論ができるが、限られた時間内に習得できる知識やデータの量は限られている。自分の獲得した知識やデータを駆使して、地理的事象を説明できる能力の育成が必要となる。

社会科では、個人で問題を発見し、グループで解決策を見出し、話し合う学習活動に積極的に参加できる生徒を目指している。話し合いには、意欲も増してきており、真剣に考える場面が増えている。

## 4. 新学習指導要領とのかかわり

総則において、「基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動」や「基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視し、生徒の思考力、判断力、表現力」を育むことが示されている。社会科では、「社会的事象の意味、意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明するなどの」学習を充実して、社会的な見方や考え方を養うことがより一層重視されている。

「世界の諸地域」について、「各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる」と、主題を設けた学習をするように述べている。

また、主題の設定は、「州ごとに様々な面から地域的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させるようにすること」と、各州を大観する学習のあとに行うことが示されている。主題の内容については、「州の地域的特色が明確となり、かつ我が国の国土の認識を深める上で効果的であるという観点から設定すること。また、州ごとに異なるものとなるようすること」とある。

## 5. 本校の研究内容と研究要素

### (1) ルール（学習規律）の徹底

授業の「ルール（規範）」を大切に声がけしていきたい。授業中の雰囲気は、とても大切である。節度のない雰囲気には、落ち着いた学習はできない。また、人の話を聞けない生徒に、コミュニケーションはとれない。一方通行ではない学び合いを指導していきたい。

#### 【学習の約束】

- ・始業のチャイムが鳴るまでに学習の準備をし、着席しよう。
- ・姿勢を正して、元気よくあいさつをしよう。「おねがいします」「ありがとうございました」
- ・発表は、みんなの方を向いて、大きな声ではっきりと言おう。
- ・発表を聞くときは、発表している人の方を向いて、静かに最後まで聴こう。

## (2) リレーション（つながり）の構築

社会科に対して苦手感をもっている生徒や消極的な生徒が「わからない」ことを「わからない」と言える雰囲気になる教師の声かけや個人・グループの意見に対する整理、学び合っている実感の持てる教師の声かけを心がけたい。

- ① わかっている仲間に、わかった仲間が、自分の体験を利用して、わかっている場所を探るような声かけをし、教える。これを促すような教師の声かけ。
- ② 発表者の意見を聴く習慣をつけるために、必ず聴いた生徒に感想やリピートをお願いするように教師は声かけする。発表者の考えが間違っている場合でも、他の生徒が認められるような多面的・多角的な教師の声かけをする。
- ③ 相手にわかることばで話すため、ゆっくりと大きな声で、自分のことばで話せるようにしたい。そのために、整理できる声かけや筆記した考えを発表する。
- ④ 生徒をつなぐ教材を選定するために、身近で共有できる教材を使用する。
- ⑤ 自分も、これから「わからない」「できない」「つukれない」など、学校生活や授業の中で、助けてもらうときが必ず来る。だから、社会科では「わからない」仲間に手助けをする声かけをする。
- ⑥ グループ学習では、自分のことばで、自分から発表したい。他の班員は、質問や意見、感想を述べることで、さらに考えが深まる活動ができるように教師は声かけをする。
- ⑦ ワークシートや資料を使って、4人グループの実質的な距離を縮める。
- ⑧ 先に全体や次に当てる人に、何を教師が聞くのか予告しておくことで、発表の準備ができるように教師は予告をする。

## (3) 思考力・判断力・表現力、その他教科で育てたい力を育てる「問い」づくり

学習のねらいに迫ることができ、事象間の関連や意義について複数の見方・考え方ができる「問い」を吟味し、設定する。

地域的特色を理解するための主題「なぜアジアでは人口が急増し、民族・文化が多様なのか」を設定した。これは、推理をして社会的事象を解釈し、説明する問いである。つまり、知識として、特定の事象に関する事実を解釈し、因果、目的結果、意義などを説明した知識である。

この主題を解決するために、次の問いを設定する。

- ① 「アジア州における人口急増地域の分布で、どこの国が人口急増しているか。また、急増している地域で共通していることは何か。」
- ② 「人口増加地域には、どのような産業が発展しているか。それは、なぜか。また、その産業の発達には、人々の生活にどのような影響を与えたか。」
- ③ 「民族と宗教の分布には、どのような関係があるか。どのようにして、その関係はできたのか。」
- ④ 「各宗教には、どのような教えがあるのか。それは人々の生活に、どのような影響を与えているのか。」
- ⑤ 「どのように宗教は、地域に伝わってきたのか。その時に、人々が地域に集団で移動し、定住すると、どのような影響が社会にあるのか。」

上の①～⑤までの段階的な問いについて資料から調べることで、事実を判断し記述できる知識や社会の意義、特質を解釈し説明できる知識を養うことができると考える。そして、最終的な主題である「なぜアジアでは人口が急増し、民族・文化が多様なのか」の事象や事実を認識し、アジアの地域的特色の理解へつなげていくことができると考える。

## 6. 評価規準

### ①単位時間における具体的な評価規準

小単元名	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
アジア州を大きくながめて (1)	アジア州の特色を自然、人口から明らかにしようとする。			アジア州の特色を自然、人口の面から理解する。
アジア州を大きくながめて (2)	アジア州の特色を産業、文化から明らかにしようとする。			アジア州の特色を産業、文化の面から理解する。
アジア州の人口と産業 (本時)		アジア州の特色を人口と産業の関係から考え、表現する。	アジア州の特色である人口増加と産業発達との関係を調べる適切な資料を収集し、読み取る。	
アジア州の民族と宗教		アジア州の特色を民族と宗教から考え、表現する。	アジア州の特色である多民族と宗教分布との関係を調べる適切な資料を収集し、読み取る。	
多様な民族と文化の形成		アジア州の地域的特色を自分のことばで表現し、伝える。		アジア州の地域的特色を理解する。

②指導と評価の計画（全6時間）

	主なねらい	主な学習活動	評価規準	評価方法
第1次	アジア州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に、アジア州の特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	アジア州の特色を、自然、人口のそれぞれの面から捉える。	○アジア州の特色に対する関心を自然、人口の面から高めることができたか。	○白地図に書かれた内容で評価する。
第2次	アジア州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に、アジア州の特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	アジア州の特色を、文化、産業それぞれの面から捉える。	○アジア州の特色に対する関心を文化、産業の面から高めることができたか。	○白地図に書かれた内容で評価する。
第3次 本時	アジア州の地域的特色を、人口増加から考え、産業発展との因果関係を明らかにし、主題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	「アジアにおける人口急増地域の分布で、どの国が人口急増しているか。また、急増している地域で共通していることは何か。」	○アジア州の特色に対する考察を、「人口急増と産業の発展」から考え、その過程を表現することができたか。	○「問い」に関する答えの内容で評価する。
第4次	アジア州の地域的特色を、多民族、多文化から考え、宗教分布との因果関係を明らかにし、主題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	「各宗教には、どのような教えがあるのか。それは人々の生活に、どのような影響を与えているのか。」	○アジア州の特色に対する考察を、「多民族と宗教分布」から考え、その過程を表現できたか。	○「問い」の答えの内容で評価する。
第5次	アジア州について、そこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身につけている。	「なぜアジアでは人口が急増し、民族・文化が多様なのか」を考え、まとめ、自分のことばで表現する。	○アジア州の特色に対する知識を「人口増加、多民族、多文化」を自分のことばで表現できたか。	○「問い」に関する答えの内容で評価する。

## 7. 本時の学習

### (1) ねらい

- アジア州の特色に対する考察を、「人口急増と産業の発展」から考え、その過程を表現することができる。
- アジア州の人口の多い地域には、地域の特色を利用した産業が発展していることを調べ、産業の発達が人々の生活を豊かにしたことを理解する。

### (2) 展開 (A : 十分満足できる姿、B : おおむね満足できる姿)

学習活動	教師の支援	評価規準と方法 (●: A, ○: B)
<p>・アジア州の各地で作られた工業製品と農作物を見て、この国の製品か予想する。</p>	<p>・身近な生活にアジア州の商品があり、自分たちの生活を支えていることに気づく。</p>	<p>●中国、タイ、韓国、インド、アラブ。</p>
<p>1. 考えよう</p> <p>なぜ、日本で作らずに、アジア各国で作っているのか。</p>		
<p>・既存知識を活用して、予測する。</p>	<p>・補助発問「なぜ商品を安く作れるのか」を投げかけることで、工業と人口との関係を考える。</p>	<p>●豊かな地下資源を利用して、産業や工業が発展してきている。</p> <p>●高い技術力や豊富な労働力を利用して、産業や工業が発展してきている。</p>
<p>2. 考えよう</p> <p>次の3つの資料と地図帳を活用し、日本よりアジアで作った方が安い理由を考えなさい。</p>		
<p>・ワークシートにある資料をもとにして、考える。</p> <p>・個人思考の後、4人グループで発表し、意見交換する。</p>	<p>・読み取ることの明確な資料を用意することで、どこまで理解できたか友達どうし話しやすいようにする。</p>	<p>●人口の多い国だから豊富な労働力がある。</p> <p>●賃金が安いので、商品を安く作れる。</p> <p>●自国に原料が大量にある。</p>
<p>3. 自分の考えを発表しよう</p> <p>インドの人口増加と工業の関係は、どのようになっているのか。資料③から比較的多い産業を言え。</p>		
<p>・資料③から、しっかりと多い産業を読み取る。</p>	<p>・アメリカとの貿易に注目させ、時差にも注目させることで、インドのIT産業の発展に驚きや関心をもたせる。</p>	<p>●アメリカと時差を利用して、IT産業が発達している。</p> <p>●豊かな労働力が安価な賃金にしている。</p>

### (3) 授業研究の視点

- ・ルール（学習の約束）とリフレーション（つながり）を図るための、教師の声かけは適切であったか。
- ・社会科の改訂の主旨に沿った授業展開であったか。
- ・本校の研究内容の要素として成り立っているのか。他に研究すべき内容、授業に盛り込む要素はないか。